

## 第48回 ふじのくに防災学講座

日時：平成24年6月16日（土）10時30分～12時00分

場所：静岡県地震防災センター

テーマ：「減災社会を築く 南海トラフの巨大地震への対応と第4次  
地震被害想定」

講師：静岡県危機報道監 岩田孝仁



（概要）

南海トラフ沿いの超巨大地震の発生について、国の中央防災会議でも被害想定や対策の検討が始まった。静岡県でも、従来の東海地震の発生に加え、南海トラフ沿いの超巨大地震への対応も含めた新たな「第4次地震被害想定」の作業を進めるとともに、地震対策全般にわたる見直し検討を始めている。

超巨大地震であっても、直接的な被害は県域の直下で発生する東海地震の震源域の影響が最も大きく、静岡県全域で震度6強から7の強い揺れに見舞われる。また、地震発生直後から沿岸には大津波が襲来する。また、震源域が広域になることから、県外からの支援はなかなか入ってこなくなることも考えておく必要がある。

少子高齢化社会を迎えている中、大規模広域激甚災害に備え、今一度、各家庭での「自助」、地域の「共助」、それを支える「公助」について、足元からしっかり固めておく必要がある。耐震化や家具の固定は済んでいますか？ 沿岸では津波から迅速に避難できますか？ 3日分以上の食料や飲料水は備蓄されていますか？